

(S29-12 用)

研究課題名	熱中症患者の医学情報等の即日登録による疫学調査（2017）
研究期間	西暦 2017年 7月 1日 ～ 西暦 2017年 9月 30日
研究の目的と意義	<p>本研究は、厚生労働省の指定研究である「効果的な熱中症予防のための医学情報等の収集・評価体制構築に関する研究」の一環として行われる熱中症発生の実態調査であり、救急医療施設における熱中症患者の急増を即時に把握して、関係諸機関へ警告することを目的として行うものです。</p> <p>収集されたデータは解析した後に、気象庁や総務省消防庁のデータなどと統合し、的確な熱中症注意報を発令する方法の検討において活用されます。</p>
研究方法	<p>2017年7月1日から2017年9月30日までの期間に当院救命救急センターを受診し、入院加療が必要となったすべての熱中症患者さんおよび外来帰宅された外国人旅行者や身体障害がある患者さんの発症状況、通常診療内の採血検査で得られた検査結果等について診療録から情報を収集して実施します。</p> <p><集積する情報></p> <p>受診された熱中症患者さんの診療録から年齢、性別、発症日、発症の時間帯（日中、夜間）、発生時の天気（晴れ、曇り、雨）、発生場所（屋内、屋外（日なた）、屋外（日陰）、屋外（夜間））、受診後の経過（入院、外来死亡）、重症度分類（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）、筋肉運動の有無（労作性、非労作性）に関する情報を入手し、これらを用います。</p>
個人情報の保護、研究参加の拒否について	<p>利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p> <p>また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。</p>
結果の公表	<p>この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。</p>
問合せ先	<p>京都第二赤十字病院 救急科 （職名・氏名）部長・飯塚 亮二 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）</p>